



発行 税理士法人 KJ グループ
〒536-0006
大阪府城東区野江 4 丁目 1 番 6 号
TEL : (06) 6930-6388

■FinTech ビジョン

経済産業省が F i n T e c h に関する初めての総合的な報告・提言を取りまとめました。

第 4 次産業革命の「新たな金融」

「FinTech（フィンテック）」は、Finance（金融）と Technology（技術）を掛け合わせた言葉です。あらゆるものをインターネットとつなげる IoT（Internet of Things）、膨大な情報（ビッグデータ）の処理・分析、AI（人工知能）、ブロックチェーンといった先端技術を使い、爆発的に普及したスマートフォンやタブレット端末等を通じて、これまでにない革新的な金融サービスが生み出される動きを捉えようとする言葉のことです。

FinTech により、あらゆる経済活動に伴う①「お金」のかたち、流れ、②信用・リスクの捉え方、③担い手が変化します。

（1）「お金」のかたち、流れの変化

Fintech は「お金」のかたちや流れを変えます。硬貨や紙幣等の現金（キャッシュ）からクレジットカードや電子マネー等のキャッシュレスへと変わり、全ての「お金」が電子情報となり、あらゆる経済取引の瞬間に立ち会うことができます。

（2）信用・リスクの捉え方の変化

FinTech は、インターネットやスマートフォンを介して空間を超えた新たな「お金」の流れを作り出し、ビッグデータ解析や AI を用いて時間を超えた新たなリスクの捉え方を見出すことで、ユーザーに新たな価値を提供するイノベーションを起こそうとしています。決済・送金、資産運用、家計管理、企業会計、資金調達、保険等、様々な分野で変化が起きています。

（3）担い手の変化

FinTech を急速に拡大させている担い手は、ビッグデータ解析や AI、ブロックチェーンといった技術を駆使して、既存の金融サービスのユーザーが抱える問題を解決し、新たな価値を提供しようとする新興企業です。

実現するための課題

あらゆる経済活動の裏には金融取引・サービスがあり、FinTech は経済活動のおよそすべての局面に登場し、そのあり方を劇的に変える可能性を秘めています。しかしながら、データ融通環境の整備、キャッシュレス化の促進、電子決済のセキュリティ確保、金融サービスのデジタル完結、中小企業等の FinTech 活用といった様々な課題があります。これらの課題に向けて、①FinTech の前提となるデータ環境の整備とキャッシュレス社会の実現、②「お金」の流れに関わるすべての取引をデジタルで完結すること、③FinTech による企業の経営力・生産性改革を促進すること、④FinTech によるイノベーションを次々に生み出す環境づくりをすること、といった政策対応がなされています。

参考資料：総務省 HP、経済産業省 HP

（出典 税務懇話会）